



報告！ 学校における働き方改革プラン（第3期）策定！

とくしまの学校における働き方改革プラン（第3期）

計画期間 令和6年度から令和8年度までの3年間

第2期・プランの成果

教員の時間外在校等時間は、小中学校で目標の「令和2年度比・25%以上削減」達成
※小 33時間、中 47時間、県立学校 26時間（令和4年度）

- ・県下統一の「学校業務支援システム」導入による校務の効率化・省力化
- ・外部人材(教員業務支援員、スクールカウンセラー、部活動指導員等)の活用による負担軽減



プランの位置付け

本プランは、県教育委員会の実施計画であるとともに、各市町村教育委員会や各学校、それぞれが自分事として、その権限と責任に基づき、主体的な取組を促進するものである

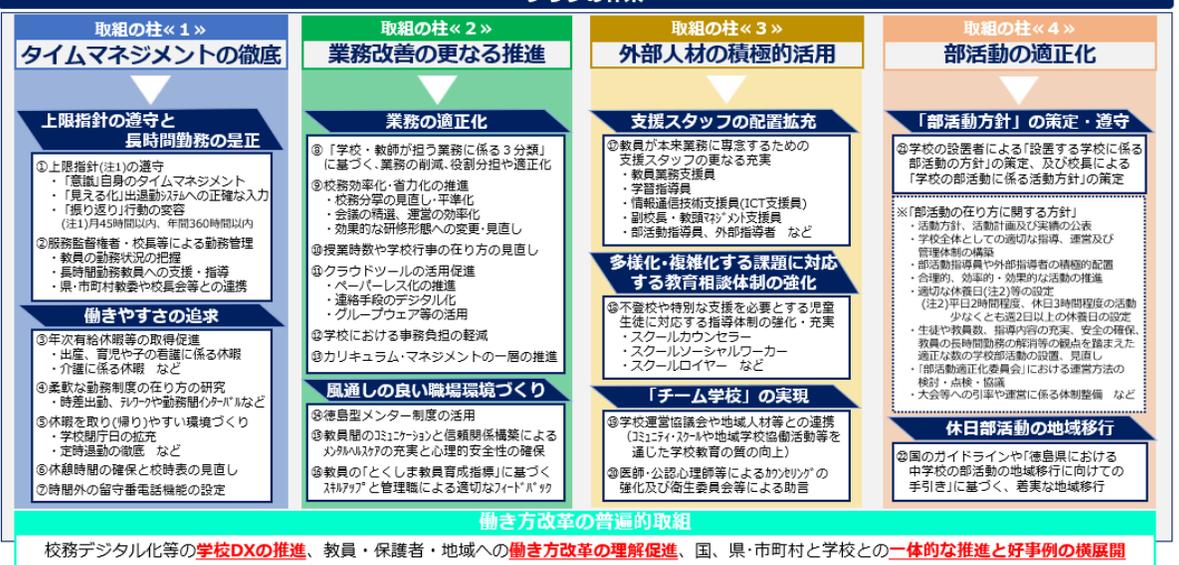
今後の課題

時間外勤務の状況は改善傾向にあるものの、依然として長時間勤務の教員が多い状況
・学校・教員が担うべき業務の精査
・ICTの活用による更なる業務改善の推進
・支援スタッフによる業務支援の更なる拡充
・中学校の休日部活動の地域移行 など

子供たちと向き合う時間や学ぶ時間の確保、教員のウェルビーイングの向上

教員の「働きやすさ」と「働きがい」を実感できる環境づくり

プランの体系



働き方改革の普遍的取組

校務デジタル化等の学校DXの推進、教員・保護者・地域への働き方改革の理解促進、国、県・市町村と学校との一体的な推進と好事例の横展開

1か月当たりの時間外在校等時間(平均)を「令和8年度までに、令和5年度比『25%削減』」

働き方改革の先には

「未来に引き継げる徳島」に向けた教育環境づくり、将来を担う子供たちにより良い教育を！

第3期・プランの策定コンセプト

(1) 目的

これまでの働き方を見直すことで、教員の健康を守ることはもとより、ウェルビーイングを確保しつつ、高度専門職である**教員が新しい知識・技能等を学び続け**、徳島の未来を担う**子供たちにより良い教育を行う**ことができるようにする

(2) 目標

教員の1か月当たりの時間外在校等時間(平均)を令和8年度までに、令和5年度比「**25%以上削減**」

具体的には、**1日平均15~20分短縮!**

(3) 位置付け

県教育委員会の実施計画であるとともに、各市町村教育委員会や各学校、**それぞれが自分事として**、その権限や責任に基づいて、主体的な取組を促進するもの

(4) プランの体系

現行プランの成果と課題を踏まえながら、好事例の横展開と先進事例等を取り入れた新たな施策を講じ、働き方改革を強力に推進する

取組の柱 ～これまでの成果と課題を踏まえて～

- ① タイムマネジメントの徹底
- ② 業務改善の更なる推進
- ③ 外部人材の積極的活用
- ④ 部活動の適正化

本プランは、現職教員で構成する「学校における働き方改革推進チーム」等での様々なご意見を踏まえ策定しました。



第3期・プランはこちら↑

次年度に向けて～第3期・プランに基づいた取組を～

- 学校目標は実現できたか？
- 教員全体が、同じ目標(ゴール)を目指しているか？
- データ(出退勤ログ等)を活用し、「見える化」できているか？

これらを踏まえて次年度の方向性や教育の質を落とさない研修などについて協議しよう！

KeyPoint

チャレンジ、トライ&エラー

「働きやすさ」と「働きがい」を実感できる職場環境づくり
⇒ **子供たちにより良い教育を!**



今後も教育委員会SNSやHPを通じて、取組状況や好事例を提供して参ります。